

第 64 号

令和 2 年 11 月 15 日
発行・編集 広報部会
松戸市上本郷 3018-1
明市民センター内
電話 368-0517

明るい福祉

明第1地区社会福祉協議会

明第1地区

根本、小根本、岩瀬、旭ヶ丘、相模台、胡録台、緑ヶ丘、野菊野団地、みなづき、松戸新田、仲井町、稔台、吉井町八柱自治会、寒風台、京流

地域で支える福祉の推進

ふれあいと支え合いのある
心豊かな福祉社会を目指して

結婚50年
おめでとうございます。

結婚50周年に寄せて

明第1地区社会福祉協議会では「結婚50年祝賀行事」のお祝品を例年松戸市社会福祉協議会から配送をしておりましたが、本年度より、明第1地区社会福祉協議会の新規事業として実施することになりました。

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い地区社協活動を自粛せざるを得ない状況になり、中止もやむを得ないとの判断に至りましたが、時の経過もあり、万全の注意を払い当会役員がお伺いしお届け致しました。

最近ではテレビCMからヒントを得て若い頃にはほとんどしませんでした。が、ほんの小さなことでもお互いに褒めあう「冗談「声かけ」みたいなことをしています（これにより気分転換になります）。

割石 史昭



稔台第3町会
割石史昭・美代子様



松戸新田東町会
長谷川順一・美子様

地区内51組の皆様へ、結婚50年の記念品と明第1地区社会福祉協議会より粗品を添えて配布いたしました。

その際、お会い出来た皆様は、素晴らしい笑顔で受け取っていただき、ありがとうございます。

あらためて、ご結婚50年、心からお祝い申し上げます。益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

会長 川井 清晶

フードバンクにご協力を！

未使用食品を福祉施設や生活困窮者などに提供するフードバンク。

2017年日本では、612万トンに上る食品ロスが発生しているといわれています。国連世界食糧計画(WFP)は途上国など82カ国の約8000万人を対象に年間約320万トンの食糧支援を実施していますが、なんと日本ではその倍の食品が捨てられていることとなります。

お家で余っている食品を捨てるのではなく、必要としている人に届けるシステムとして「フードドライブ」「フードバンク」活動があります。

フードドライブは主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体やフードバンクへ寄付する活動です(ドライブは寄付の意味)。

食品が余っている人と足りない人をつなぐという意味では同じ活動です。捨てられてしまう食品が誰かを助けることになり、食品ロスの削減にもなるこの活動にあなたも気軽に参加してみませんか。

慣れましたか？ 新しい生活様式

松戸市ではまだまだ感染者が出ております。配慮ある行動をしましょう。

三密を避ける

密集・密接・密閉にならない。

買い物

混雑しない時間帯・短時間で済ませる。

マスク

付け外しは必ずしもを持って。

外出した時は

誰と会ったかメモしておく。

見落としがちな手洗いのポイント

爪・手の甲・指の付け根・手首

見落としがちなタイミング

お金の受け渡し・スマホ・手すり・ドアノブを触った後手洗いを。

マスクを着用せずに会話することはない。

障害や病気などによりマスクを着用出来ない方は

意思表示カードを健康福祉政策課(本庁舎本館3階)で平日開庁日に配布しています。枚数に限りがあり、無くなり次第配布終了です。



意思表示缶バッジとカード

問い合わせ先
松戸市社会福祉協議会
047(3)6605003

寄付いただきたい食品
麺類、お米、保存食品(缶詰、ビン詰め等)
インスタント食品、レトルト食品、菓子、飲料、調味料等
ギフトパック(お歳暮、お中元等)

注意いただきたい点
賞味期限が2カ月以上のもの
常温で保管可能なもの
未開封のもの
お米は前年度産まで(玄米可)

あおぞら「こあら食堂の会」

明地区「こあら食堂の会」ではコロナ禍においても活動を継続しています。地域の居場所として皆が集まってご飯を食べることはできないので、弁当の配布、食材・物資無料配布（フードパントリー）というように形を変えて開催しています。

コロナ以前は老若男女問わず地域の方が集まり、食事をし、交流する地域の居場所でしたが、コロナで変化したのは開催形式だけでなく、来る人自体にも変化がありました。こあら食堂に来る人は様々な事情を抱えている方が多く、経済的事情、精神的事情など個々に事情がありますが、今まで来なかったような方々が参加するようになりました。こういった新たな参加者を見てみると、コロナ禍の地域において、人との結びつき、人と人の繋がりを必要としている人が多いのだと実感します。

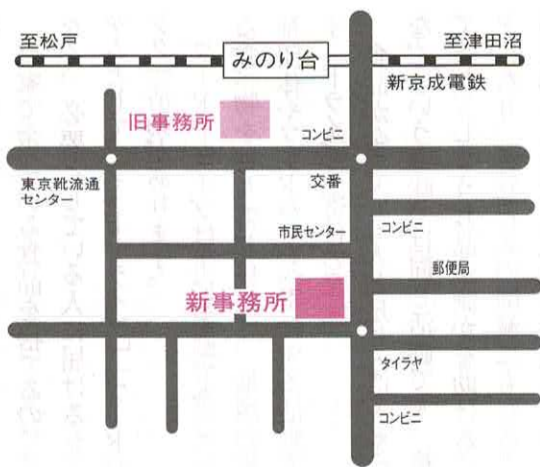


明第1高齢者いきいき安心センターです

松戸市明第1高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）では、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言中も、通常どおり電話等での相談を受け、必要であれば、感染防止対策を徹底した上で、訪問により相談を受けておりました。感染拡大を受け、一時中止しておりました運動教室や介護者のつどいなどの行事も、新しい実践様式を取り入れ、3つの密を避ける対策を講じて再開しています。外出自粛により、多くの高齢者が外出を控え、これまでよりも居宅で長い時間を過ごされており、体力の低下が心配されます。冬場に向けて、感染拡大の懸念もありますが、ウイルスと共存する段階にもありますので、「食事・運動・社会参加」の3つのポイントに気を付けながら、健康を維持していきましょう。10月より、オレンジ協力員（ボランティア）とセンター職員等が地域で高齢者やこどもの見守りを行う活動として、月1回のオレンジパトウォークを開催しています。また、12月には3回シリーズで認知症予防教室の開催を予定しています。

教室に参加を希望される方がいましたら、左記センターまでご連絡をお願いいたします。また、何か困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】
松戸市明第1高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
【電話】047(700)5881
【FAX】047(700)5597



9月は「あおぞらこあら食堂」として、北仲町公園でフードパントリー、キッチンカー、防災食アルファ米配布を行いました。今は出来ることは限られていますが、夏を満喫することのできなかったであろう子どもたちに少しでも楽しんでもほしいという想いから生まれたイベントです。当日は子どもだけでなく、ご年配の方など幅広い世代の方が参加され、良かったという声を頂きました。これからも、こあら食堂はコロナ禍で必要とされること、求められることを実現できるよう活動を継続していきたいと思えます。



石塚 裕

認知症予防教室

テーマ：口腔ケアと運動

- ① 12月4日・午後2時～4時
- ② 12月10日・午後2時～4時
- ③ 12月18日・午後2時～4時

場所はいつでも松戸市勤労会館



江戸川河川敷に咲くコスモス



あとがき

暑かった日々が過ぎ、秋から冬へと季節が変わっていきます。近頃のチラシやポスターを見ていると秋には、茶色が良く似合うなあと改めて思いました。世間では、自粛モードがやわらぎ旅行も食事会も楽しめる雰囲気になり、にぎやかになってきました。お互いに移さない、自分から頼らないという思いを忘れず行動するのが大切ですね。広報部の活動も何回となく会合が持てるようになりました。皆さんの周りでもジムやグラウンドゴルフにと仲間が集まる方が増えていませんか？私もボランティアで楽しく参加していた「ふれあい会食会」が中止になって半年以上です。早く再開できたらと心待ちにしています。この広報がお手元に届く十一月頃には、少しでも楽しい時間が持てる事を願っています。

小日向 恵子

各種使用済み品

不要入れ菌・書き損じハガキ・使用済切手を集めております。
※入れ菌は熱湯洗浄後チャック付ビニール袋に入れ、市役所・市及び各地区社協に設置してある回収箱に入れてください。



車いすの貸出し

通院・買物・旅行など短期間の使用の方に無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【問い合わせ】

明第1地区社会福祉協議会
☎047(368)0517